

令和8年度「ゆかり市長の出張トーク」 開催結果

皆さんのもとに市長が伺い、市政やまちづくりについて意見交換を行う、令和8年度「ゆかり市長の出張トーク」を開催しました。次のとおり概要をお知らせします。

第1回 令和8年5月12日（火）

団体名：北福島長寿会
開催時間：13時30分～14時30分
会場：北福島公民館
参加人数：10人
テーマ：少子高齢化が進む中での諏訪市の将来ビジョン、子育て施策、南部地区小中一貫校などについて

【主な内容】

■団体から

- ・少子高齢化し過疎化が進む諏訪市の実態を懸念している。北福島区も50戸ほどの地区だが、どんどん人が減っている。御柱祭についても、若い氏子が減ってしまい柱を曳くことができなくなるのではないかと危惧している。文化や伝統を大事にしたいと思っても、お祭りのやり方が変わってってしまうのではないかと危惧している。また、若い人がもっと入ってきてほしいが、現在ある土地だけでは減ってってしまうのではないかと。市内に同様の地区もあると思うが、市長のお考えはどうか。
- ・自分は2人暮らしで跡取りもいない。終活について考えているが、市に相談できる場所はあるか。あれば相談したいと思っている。
- ・もうすぐ1歳になる子の子育て中。産後ケアのチケットをもらっているが、使い勝手が悪いのか周りにあまり使っている人がいない。おむつ券、ミルク券としても使えるように使用範囲を広げられると非常に助かる。また、近隣市町村でこども医療費が今年の夏から全額無料になるが、諏訪市の対応はどのようなのか。
- ・4月から全国的に始まった「誰でも通園制度」を利用したいが、事前予約サイトに面接日程が出てこないため、利用したいがまだ利用できていない。
- ・夜中に子どもに夜泣きされたとき利用できる「夜泣きカフェ」があるといい。深夜にオープンしているカフェに保育士が常駐していて、温かい飲み物を提供したり、母が孤独にならないよう寄り添ってくれるもの。他の自治体でも始まってきていると聞くので、すぐ実現が難しいとは思いますが、あるとうれしい。
- ・南部地区小中一貫校について、中洲小学校の跡地利用はどのような計画か。跡地が廃墟になると困るので、将来的な展望を聞きたい。また、企業誘致的なことをすれば労働人口の確保にもなるのではないかと。
- ・市長3期目も終わりに近づいてきた。長くご苦労されているが、最初に市長になられたところから現在までで、諏訪市はどんなところが変わってきたとお考えか。

■市長から

- ・北福島区は高齢化率が40～50%で市平均の31～32%を超えており、市内でもかつて町場だったところの高齢化率が高い傾向にある。この世代は、どんどん人口が増える時代を体験してきているので、今の状況に対して非常に不安を持つのは自然なこと。ただ、何をもって「幸せ」なのかという視点で考えた時、今、与えられた環境の中で、我々がすべきことを考えていこうという思いでいる。御柱祭に関するご心配もよくわかる。
- ・高齢化を受け入れたとき、健康長寿が「自助」のベースとなる。さらに、北福島区のようなコミュニティの「共助」を大事にしていく。みなさんの「幸せ」を実現するため、「自助」と「共助」でがんばっている人たちを行政の「公助」が支える。
- ・終活の相談は2階の生活相談課へ。社会福祉協議会でもよい。市に相談に来てくだされば、適切なところへつなぐ。
- ・おむつやミルク等の消費物は、各ご家庭でマネジメントしていただくのが基本と考えている。みなさんからお預かりした税金の再配分をするのが我々の役目。産後ケア等に関する事業については、担当課が吟味してから実施していると思うが、いただいたご希望を担当者に伝える。
- ・近隣市町村でのこども医療費無償化について、今はそういう自治体の方が多く、その選択を尊重するところ。ただ一度払っても返ってくるお金で、諏訪市は諏訪市。何百もある自治体サービスについて、1つだけではなく全体バランスで見てほしい。
- ・誰でも通園制度は始まったばかりで、年齢ごとの定員などもあると思うが、早く受付ができるよう担当者に伝える。
- ・夜泣きカフェについて、そんなカフェがあることを初めて知った。子どもが夜泣きした時、一緒にやってもらいたいという母の気持ちはよくわかる。ご希望を担当者に伝える。
- ・中洲小学校の跡地はまだ数年使う予定だが、今後みなさんの声を聞きながら、どうするか具体的に決めていく。研究段階なので、希望があったら個人というより中洲地区などグループで意向を固めて要望を出してもらおうと、実現性が高くなる。ぜひご希望をお聞かせいただきたい。
- ・市長就任からを振り返ると、上諏訪駅の西口と20号バイパスは大きな課題だった。国や県への400回以上の陳情の結果、バイパスは国の事業として再スタートできた。また、上諏訪駅西口、柳並線、諏訪湖スマートインターチェンジなどの各種事業が進んでいく中で、「駅が暗い。衰退の一途なんじゃないか。」と言われていた諏訪市が、少しはあか抜けた街になってきたのではないかと考えている。
- ・また、コロナ禍にはホテル・観光業界が厳しい状況だったが、その中でも官公庁の補助金を使い、ユニバーサルツーリズムを掲げて上諏訪温泉のリフォームを行った。10数億をかけて部屋をバリアフリーにし、車いすのままお風呂に入れるようにするなどしたところ、去年は全国温泉百選の24位にランクアップした。そういった努力が評価を得たことは大変良かった。

・上川の改修にもとうとう着手した。台風 19 号の時などはあふれるのではないかと大変心配したが、今、調査に入っていて、今後の設計・工事が始まると、もう 10 数年かかって新六斗橋までが第 1 期工事となる。そうすると少し安心度が増すのではないかと考えている。

感想・意見など

開催後にアンケートで寄せられた感想や意見を、抜粋して掲載します。

・市長の、市民の声をより聴こうという姿勢、すばらしかったです。とてもわかりやすく有意義なお話を伺えました。金子市長をより好きになりました。

